

契約事務(基礎)研修

～契約事務の基礎を学ぶ～

◆こんな方におすすめ！

- ・契約事務の基礎について学びたい方
- ・契約事務を担当する方
- ・監査事務を担当する方 など

◆研修のねらい

地方公共団体では、用地買収契約、建設工事契約、土木工事契約、購買契約等、契約にまつわる問題は大変複雑化する傾向にあり、その事務手続きにおいては、透明性・公平性の確保が不可欠です。

この研修では、契約行為の問題を取り上げ、地方公共団体の契約を中心に事例を交えながら分かりやすく解説します。

◆講師情報

一般社団法人 日本経営協会
講師 樋口 満雄

◆予定科目

- 1 地方財務会計制度と契約
- 2 契約制度を理解しておくことの必要性
- 3 自治体契約制度の全体像
- 4 自治体契約事務の基本原則
- 5 予算執行と契約実務
- 6 委託契約等の実務
- 7 公共契約の参加資格
- 8 リース契約の実務
- 9 工事契約の実務
- 10 契約制度の課題と対応
- 11 事例紹介



◆研修情報

- 対象者 受講を希望する職員
- 募集人員 40名
- 日程及び会場
令和5年8月17日(木)～8月18日(金)
自治会館3階大会議室

◆受講者の声

- ◎ 事例を挙げて具体的な説明をしていただき理解が深まった。
- ◎ どうしてこの事務手続はやってはならないのか、省略できるのかなど、根本的なところを考える良いきっかけとなった。適正な契約事務を行うために、疑問を持ったら立ち止まり、相談、法令確認を徹底したい。
- ◎ 研修を受講して、契約事務がいかに責任の大きい仕事であるかを再確認できた。
- ◎ 日頃の自分の業務が民法や地方自治法のどこにどのように規定されているのか、事例についても学ぶことができて良かった。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	基礎知識	休		基礎知識
2日目		実務・運用		憩		実務・運用

公会計のための簿記セミナー（基礎編）

～簿記の基礎を学び、コスト意識を身に付けよう！～



◆こんな方におすすめ！

- ・簿記の基礎知識について学びたい方
- ・地方公会計について学びたい方
- ・財務書類の見方について学びたい方 など

◆研修のねらい

地方分権の進展に伴い、自治体職員には、これまで以上に責任ある行政経営が求められています。そのため、資産や負債の情報を含めた複式簿記の基礎知識を学ぶ必要があります。

国においても、財務書類作成の統一的な基準を示し地方公会計の整備推進を図っています。

このセミナーでは、簿記の基礎を重点的に学び、貸借対照表や損益計算書を作成することで決算・財務分析の実践的な学びにつなげ、公会計の基礎知識を習得することをねらいとしています。

◆講師情報

南九州短期大学
講師 佐藤 弘太郎

◆予定科目

- 1 簿記の歴史
- 2 簿記の種類と目的
- 3 発生主義会計による記帳方法
取引、仕訳、勘定記入
試算表
- 4 財務諸表の作成
損益計算書、貸借対照表
キャッシュフロー計算書
- 5 公会計における財務書類4表

◆研修情報

- 対象者 受講を希望する職員
- 募集人員 各回40名 合計120名
- 日程及び会場
第1回：令和5年5月 9日(火)～5月10日(水)
自治会館3階大会議室
第2回：令和5年6月27日(火)～6月28日(水)
自治会館3階大会議室
第3回：令和5年7月25日(火)～7月26日(水)
都城市役所南別館4階第1会議室

《研修時の持参物》

- ・10桁以上表示できる電卓

※忘れますと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ 複式簿記誕生の歴史的背景、なぜ財務書類4表が必要になったのかを押さえることができた。
- ◎ 普段の業務で、見ている数字の名前はわかるが、ぼんやりとしていたものの存在理由と仕組みがはっきりした。
- ◎ 具体的な例や理屈について詳しく解説があったため、初心者でも理解することができた。
- ◎ 実際に手を動かして仕訳をきり、電卓をたたくことで、記憶にも定着し易いように感じた。応用編も受講したい。

◆スケジュール

9:30 9:45		10:00		12:00 13:00		16:30	
1日目	開講式 オリエンテーション	簿記の歴史 簿記の種類と目的 発生主義会計による記帳方法		休憩	発生主義会計による記帳方法		
2日目	財務諸表の作成				財務諸表の作成	公会計における 財務書類4表	

◆関連研修

- 公会計のための簿記セミナー（応用編）
- 公営企業会計セミナー（公営企業会計について学びたい方）

公会計のための簿記セミナー (応用編)



～簿記を深く学び、予算編成につなげよう～

◆こんな方におすすめ！

- 簿記について詳しく学びたい方
- 地方公会計について学びたい方
- 簿記分析、損益分析を学びたい方 など

◆研修のねらい

この研修では、簿記のスキルアップとともに、減価償却や短期利益計画、損益分析を学ぶ事で、予算編成のための現状分析力を身に付けることをねらいとしています。

◆講師情報

南九州短期大学
講師 佐藤 弘太郎

◆予定科目

- 1 簿記セミナー（基礎編）の振り返り
- 2 帳簿の締め切り（英米式決算法）
- 3 消費税（税抜法・税込法）
- 4 決算整理（応用編）
実践的精算表（日商3級改訂程度）
- 5 短期利益計画（日商2級改訂程度）
損益分岐分析（CVP分析）、利益計画
安全余裕率、原価分解、費目別精査法
- 6 予算設定
固定予算、公式法変動予算
総務省統一の基準との整合性

◆研修情報

- 対象者 簿記の基礎知識を有する職員
受講を希望する職員
- 募集人員 40名
- 日程及び会場
令和5年12月12日（火）～12月13日（水）
自治会館3階大会議室

《研修時の持参物》

- ・ 10桁以上表示できる電卓

※忘れずと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ 基礎編に引き続き、とても有意義な研修だった。毎日の伝票起票の意味が理解できた。
- ◎ 事業会計の予算編成の分析に活用したい。
- ◎ パソコンに依存しない計算能力を身につけることが目的とされており、簿記としての本来の手順を学習した。具体的にイメージすることができる説明だったので、とても分かりやすく、普段のソフト上の処理が、多数の工程を踏んでいることを理解することができた。
- ◎ CVP分析を使い、決算から予算の設定に活用したい。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	18:30
1日目		開講式 オリエンテーション	基礎編の振り返り 英米式決算法	休 憩		消費税（税抜法・税込法） 実践的精算表の作成
2日目		短期利益計画 損益分岐分析（CVP分析）				短期利益計画 予算設定との結合

◆関連研修

- 公会計のための簿記セミナー（基礎編）
- 公営企業会計セミナー（公営企業会計について学びたい方）

公営企業会計セミナー

～公営企業会計の仕組みを知る～



◆こんな方におすすめ！

- ・公営企業会計担当の方
- ・公営企業会計の仕組みを学びたい方 など

◆研修のねらい

このセミナーでは地方公営企業会計の実務の基礎を学びます。

簿記の基礎的知識である財務諸表（貸借対照表、損益計算書等）から解説するとともに、地方公営企業の予算書・決算書の読み解き方や地方公営企業会計制度改正への対応について、講義及び演習を通して理解を深めます。

◆講師情報

株式会社アプサラ経済経営研究所
代表取締役社長 佐藤 裕弥

◆予定科目

- 1 地方公営企業の簿記
- 2 民間企業会計と地方公営企業関係法令の理解と運用
- 3 公営企業制度地方公営企業の法制度経営財務、料金の適正化
- 4 公営企業における予算書様式と作成の留意点
- 5 公営企業における決算書様式と作成の留意点
- 6 公営企業会計の実務上の留意点
- 7 公営企業の経営戦略と予算・決算の関係とPDCAサイクル
- 8 参加者の所属する公営企業会計適正化と演習

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	予定科目1～4	休		予定科目1～4
2日目		予定科目5～8		憩		予定科目5～8

◆関連研修

- 公会計のための簿記セミナー（基礎編・応用編）（簿記について学びたい方）

◆研修情報

- 対象者 公営企業会計事務担当職員
簿記の基礎知識を有する職員
受講を希望する職員

- 募集人員 35名

- 日程及び会場

令和5年5月31日(水)～6月1日(木)

1日目：宮崎市中央公民館3階大研修室

2日目：宮崎市中央公民館2階中研修室

《研修時の持参物》

- ・電卓
 - ・公営企業経理の手引き（最新のもの）
 - ・地方公営企業関係法令集
 - ・自団体の公営企業会計決算書（直近のもの）
- ※忘れずと研修に支障を来しますので、必ずご準備ください。

◆受講者の声

- ◎ 経理の手引きや法令集など、あまりじっくりと読む時間がなく、なかなか理解し難いと思っていたが、研修内で解説してもらいながら読み進めることができ、理解に繋がった。
- ◎ 病院に勤務しているが、公営企業会計は、一般会計とも企業会計とも違い、質問できる機会が少ないため、大変勉強になった。
- ◎ 公営企業会計への移行が急務であるため、教えていただいたことに気をつけて、間違いないように準備を進めていきたい。

税務関係職員初任者研修

～税務職員として必要な知識、法的根拠などの基礎を学ぶ～



◆こんな方におすすめ！

- ・税務全般の基礎を学びたい方
- ・地方税の諸情勢に関心のある方 など

◆研修のねらい

地方税事務を体系的に理解し、課税から徴収までの基本事項を習得することで、多様化・複雑化する地方税事務に対応できる幅広い知識を身に付けます。

◆講師情報

宮崎県総務部市町村課
税政・交付税担当職員
公益財団法人 東京税務協会
専門講師 石塚 克義

◆予定科目

- 1 地方財政の中の地方税
- 2 住民税総則
- 3 住民税概要
- 4 固定資産税概要
- 5 徴収事務概要
- 6 その他諸税の概要
- 7 事例演習・情報交換・グループ討議

◆研修情報

- 対象者 税務関係職員
(主対象：経験年数2年未満の職員)
- 募集人員 各回35名 合計70名
- 日程及び会場
第1回：令和5年5月30日(火)～5月31日(水)
延岡市役所5階災害対策本部室
第2回：令和5年6月1日(木)～6月2日(金)
宮崎県婦人会館3階大会議室さくら

◀研修時の持参物▶

- ・地方税法等が掲載された法令集（自治六法等）
※忘れずと研修に支障を来しますので、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ 税の知識がほぼ皆無だったので、基本的な内容から説明があったため、すごく勉強になった。
- ◎ 賦課している税がどのような制度設計になっているのかを改めて知ることができた。日頃の業務を行っている視点でみると視点が多角的になるため全体像を学び直すことも必要だと思う。
- ◎ 課税が強制力を伴った行政処分であることを認識できた。だからこそ確実に公平・公正な課税に努めなければならないと改めて感じた。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	地方財政の中の地方税	休		住民税総則・住民税概要
2日目		固定資産税・徴収事務概要 その他諸税の概要		憩		事例演習、情報交換、グループ討議

税務関係職員 固定資産税事務研修 (家屋中級)



～事例演習を通して、実務能力の向上を図る～

◆こんな方におすすめ！

- ・固定資産税事務のレベルアップを図りたい方
- ・家屋の課税と評価方法を学びたい方 など

◆研修のねらい

固定資産税は地方公共団体の貴重な自主財源の一つであり、法律や条例等に基づき、適切かつ公平に事務を行う必要があります。

この研修では、家屋の課税・評価に関する実務運用手法を習得するため、事例演習と解説を加えながら、実践的ノウハウを学ぶことをねらいとしています。

※固定資産税事務研修は「土地中級」と「家屋中級」を隔年で開催しています。今年度は「家屋中級」を開催します。

◆講師情報

公益財団法人 東京税務協会
専門講師 堀川 稔

◆予定科目

- 1 区分所有法と区分所有家屋（講義、演習）
- 2 新築住宅減額：法附則第15条の6（講義、演習）
- 3 家屋の認定（講義、事例検討）
- 4 家屋の評価：固定資産評価基準（講義、事例検討）
- 5 講評・解説・質疑応答

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	区分所有法と区分所有家屋 (講義、演習、解説)	休 憩	新築住宅減額 (講義、演習、解説)	家屋の認定 (講義)
2日目		家屋の評価（基準・通則・木造） (講義)			家屋の評価 (非木造・経過措置) (講義)	家屋評価全般 (事例検討、解説)

◆関連研修

- 民法セミナー（民法の基礎を学びたい方）

◆研修情報（隔年開催）

- 対象者 基本的事項を修得した固定資産税事務経験2年目以降の職員

- 募集人員 30名

- 日程及び会場
令和5年11月14日(火)～11月15日(水)
宮崎県婦人会館3階大会議室さくら

＜研修時の持参物＞

- ・電卓
※忘れずと研修に支障を来します、必ずお持ちください。

◆受講者の声

- ◎ 研修を受講して改めて税務職員の重要な役割と責任の重さを痛感した。
- ◎ 事例演習で講師の解説や他の自治体の取り扱いを聞くことができ、特殊なケースの対応を学べた。
- ◎ 固定資産税の成り立ちや、関連する法律の概要など広い視点での存在意義を改めて学ぶことができた。
- ◎ 根拠法令等、具体的に説明して下さったので、これから住民への説明に活かしていきたい。
- ◎ あっという間に1日が終わり、ワクワクするものすごく充実した2日間でした。

債権徴収事務研修 (公債権)



～債権徴収事務の手法を学んで徴収率アップを目指そう～

◆こんな方におすすめ！

- ・債権徴収事務のレベルアップを図りたい方
- ・自治体債権に関する滞納整理手続について学びたい方 など

◆研修のねらい

自治体が自立した行財政運営を進めていくためには、自主財源の要となる税や公的料金の確保が重要であり、公正、公平に滞りなく徴収するための強化が求められています。

私債権・公債権を隔年開催とし、今年度は公債権徴収（地方税、保育料、下水道使用料等）に関する研修を実施します。

◆講師情報

一般社団法人 日本経営協会講師
自治大学校講師、亜細亜大学非常勤講師
黒坂 昭一

◆予定科目

【1日目】

滞納整理の基本的事項

- ・納税交渉（折衝）から財産調査
- ・財産の差押え（給料、預金等）

【2日目】

- ・納税の猶予、滞納処分の停止
- ・相続による納税義務の承継
- ・その他通則的事項

（徴収権の消滅時効、延滞金の免除等）

◆研修情報（隔年開催）

●対象者 公債権徴収事務担当者

●募集人員 40名

●日程及び会場

令和5年7月27日（木）～7月28日（金）

自治会館3階大会議室

◆受講者の声

- ◎ 滞納整理について、基本的な事を学び、滞納処分の流れが分かり勉強になった。
- ◎ 実務に直結する内容だったので、公債権の徴収事務に関する理解が深まった。事務作業ではなく、常に根拠法令を考えるようにし、自信を持って徴収事務にあたるようにしたい。
- ◎ 下水道使用料について、収納がない者にはしっかりと督促状を発行し、滞納整理を行い、収納率の向上につなげたいと思う。自分の頭の中にあつた知識を整理し直す良い機会となった。
- ◎ 職場で即実践できる業務に沿った内容だったので、重要な地方税法や国税徴収法をもとに、滞納整理に取り組んでいきたい。

◆スケジュール

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目		開講式 オリエンテーション	納税交渉（折衝）から 財産調査	休		財産の差押え（給料、預金等）
2日目		納税の猶予、滞納処分の停止		憩		相続による納税義務の承継 その他通則的事項（消滅時効等）

◆関連研修

- 民法セミナー（民法の基礎を学びたい方）